

WEST

Generate Collection

L6: Entry 4 of 155

File: JPAB

May 29, 1990

PUB-NO: JP402139361A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02139361 A
TITLE: WHISKY BOTTLE

PUBN-DATE: May 29, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

ISONISHI, MINORU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KOWA SANGYO KK

APPL-NO: JP63288461

APPL-DATE: November 15, 1988

US-CL-CURRENT: 215/363

INT-CL (IPC): B65D 51/24; B65D 39/04; C12G 3/06

ABSTRACT:

PURPOSE: To make a flavor giving component seep into a whisky by a method wherein a stick shaped material which contains a flavor giving component such as white oak, etc., (flavor giving material) is attached to a plug of a whisky bottle, and the plug is placed on a bottle.

CONSTITUTION: A flavor giving material 3 is preferably in a stick shape and long enough so that the lower end reaches a whisky when a plug is placed on a bottle 1. Also, depending on the type of the flavor giving material 3, it is one method that the flavor giving material 3 is attached to a plug 2, to be free to remove/replace, and is removed when it is appropriate. When white oak is used for the flavor giving material 3, if the surface layer part of the white oak is previously burnt by bringing a metal piece which is heated to several hundred degree into contact with the surface of the white oak, a more desirable flavor to whisky is given. Therefore, it is desirable to brand the manufacture date of the whisky, the name of manufacturer and others on the white oak.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-139361

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)5月29日

B 65 D 51/24
39/04
C 12 G 3/06

Z 6929-3E
Z 6929-3E
8114-4B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ウイスキーボトル

⑯ 特 願 昭63-288461

⑰ 出 願 昭63(1988)11月15日

⑱ 発 明 者 磯 西 実 静岡県静岡市上足洗2丁目19番15号

⑲ 出 願 人 興和産業株式会社 静岡県静岡市日出町5-1

明 細 書

1. 発明の名称

ウイスキーボトル

2. 特許請求の範囲

ボトルと栓とからなるウイスキーボトルに於いて、賦香成分を有してウイスキーに浸漬するとこれをウイスキー中に滲出する材料を用いて形成した賦香材を栓に取り付け、ボトルに栓をすると賦香材がウイスキーに浸漬されるようにしたことを特徴とするウイスキーボトル

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はボトルの栓に賦香材を取り付けたウイスキーボトルに関する。更に詳しくは、ボトルに栓をすると栓に取り付けられた賦香材がウイスキーに浸漬されるようにしたウイスキーボトルに関するものである。

(従来技術)

従来、ウイスキーを製造したときは、ホワイトオーク製の樽に詰めて一定期間静置して充分

に熟成させた後に飲用に供すること、されていた。この場合、樽はウイスキーを熟成するための熟成用容器であると共に、これを運搬し、貯蔵するための容器として用いるのであるが、このものは価格が高いうえに運搬や貯蔵等の作業性が低いため、取り扱いコストが高むと云う欠点がある。かかる欠点を解消する方策として、近年はウイスキーの製造元でこれをウイスキーボトルに詰めて運搬、貯蔵等の取り扱いをする方法が採られている。

(従来技術の問題点)

上記した方法は、ウイスキーボトルが樽に比べて格段に安価であること、運搬や貯蔵等の作業性が高いため作業コストが低減される利点があり、しかも消費地でウイスキーを樽からボトルに詰め替える必要が無くなるので、それだけ販売コストが低減されるのである。

ところが、ホワイトオークは賦香成分を有していて、これを用いて形成した樽にウイスキーを詰めた場合はホワイトオークから賦香成分が

滲出するので、これによってウイスキーは香りが高められて品位が向上するのであるが、上記したように、ウイスキーの製造元でこれをボトルに詰め込む場合は運搬、貯蔵中にウイスキーが賦香されることが無いので、従来のものに比べて香味が低いと云う不具合が生じていた。そのため、ボトルに詰めたウイスキーに樽詰め同様のウイスキーと同様の香味を賦香する方法の開発が望まれていた。

(発明の概要)

本発明に係るウイスキーボトルは上記した点に鑑みて成されたもので、ウイスキーボトルの底面にホワイトオーク等の賦香成分を含有する棒状材(賦香材)を取り付けて、ボトルに栓をするとこれがウイスキーに浸漬されて賦香成分が滲出するようにしたものである。

(実施例)

以下、本発明に係るウイスキーボトルを図示の実施例に基づいて具体的に説明する。

図中符号1はボトル、2はその栓である。

栓2をすると必然的にボトルに挿し込まれて、少なくとも最初にボトルを開栓するまではウイスキーに浸漬されていることが肝要である。この点からして、賦香材3は棒状であって、ボトル1に栓をしたときにその下端がウイスキーにまで達するものであるのがよい。

また、賦香材3の種類によっては、これを栓2に着脱自在にして、適当な時に取り外すようにするのも一法である。

尚、賦香材3にホワイトオークを使用したときは、ホワイトオークの表面に数百度に加熱した金属片を接触させるなどして、表面部分を予め焦がしておくと、ウイスキーにはより好ましい香が賦香される。従って、ホワイトオークにはウイスキーの製造年月日や製造者名、その他を焼き印しておくのが望ましいのである。

(効果)

以上詳述したように本発明に係るウイスキーボトルは、ホワイトオーク材その他の賦香成分を有する材料を用いて形成した賦香材3を栓2

これらは後述するように栓2に賦香材3が取り付けられている以外は通常のこの種のものとは変わるところはない。

即ち、ボトル1はガラス製、又は陶磁製の壺であって上部に注ぎ口4が形成されており、一方栓2はコルク等の適度な弾力性を有する材料を用いて形成されていて、ボトル1の注ぎ口4を密封するようになっている。

尚、図では栓2は注ぎ口4に嵌め込む形式のものを示したが、もとよりこれに限定されるものではない。注ぎ口4に冠せる形式の、いわゆるキャップであっても同様である。要は、ボトル1を密栓することが出来るものであれば充分である。

この栓2に賦香材3が取り付けられている。賦香材3は賦香成分を有していて、ウイスキーに浸漬されることによってウイスキー中に賦香成分を滲出するもので、例えば乾燥させたホワイトオーク材が用いられる。その形状については特に限定するものではないが、ボトル1に

に取り付けたもので、ボトル1にウイスキーを充填して栓をすると栓2に取り付けられた賦香材3がウイスキーに浸漬される。従って、その結果ウイスキーは樽に詰められた場合と同様に、運搬され貯蔵される間に賦香材3から滲出する賦香成分によって賦香されるのである。

又、賦香材3はウイスキーボトルを開栓しないかぎりボトル1から取り出されることが無いので、例えばこれにウイスキーの製造年月日や生産者名、その他必要な事項を表示しておけば、取り扱い中にボトル1のラベルが剥がれるようなことがあっても支障を来すことが無くなるのである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明に係るウイスキーボトルの一例を示す縦断面図である。

- | | |
|--------|--------|
| 1: ボトル | 2: 栓 |
| 3: 賦香材 | 4: 注ぎ口 |

特許出願人 興和産業株式会社

